



平成22年8月期 決算説明会

平成22年10月13日

代表取締役社長 日野 洋一



[東証マザーズ 証券コード:2404]

[1] 平成22年8月期 決算概要

決算ハイライト(連結)	3	四半期の概況	6
貸借対照表(連結)	4	事業別売上高・営業利益	7
キャッシュ・フロー計算書(連結)	5		

[2] 平成23年8月期 業績見通し

平成23年8月期の業績見通し(連結)	9	株主還元(配当金・EPS)	11
事業別売上高・営業利益の見通し	10		

[3] 平成22年8月期 取り組み

カラオケルーム運営事業[1]売上高・利益・客数・客単価	13	カラオケルーム運営事業[3]コンテンツ	15
カラオケルーム運営事業[2]店舗数	14	フルサービス型珈琲ショップ	16

[4] 平成23年8月期 経営戦略

ポイント[1]店舗戦略	18	ポイント[2]会員システムサービスの拡充	19
-------------	----	----------------------	----

参考資料

会社概要(平成22年8月末現在)	22	店舗紹介(新店舗)	24
店舗紹介	23	カラオケルーム市場の現状と見通し	25



[1] 平成22年8月期 決算概要

決算ハイライト (連結)

(単位:百万円)

	21/8月期	22/8月期 (計画)	22/8月期 (実績)	前期比 増減率	計画比 増減率
売上高	7,074	7,298	7,312	3.4%	0.2%
営業利益	405	484	445	10.0%	▲7.9%
経常利益	349	409	385	10.3%	▲5.9%
当期純利益	123	140	146	18.4%	4.0%
EPS (円)	3,811.77	4,373.50	4,635.23	—	—

※計画値は、平成21年10月7日開示

- 世間全般が低価格サービスに人気が集まる中、全体としては予算の想定範囲内で着地
- 不況下における経済環境を好機と捉え、主力事業であるカラオケルーム運営事業に集中的に資源を投入し、8店舗を新規出店(内、1店舗は移転)
- 人事戦略:新卒採用、過去最多の18名採用

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	21/8月期	22/8月期	増減額
流動資産	1,976	2,331	355
現金及び預金	1,584	1,899	315
受取手形及び売掛金	65	78	13
たな卸資産	60	94	34
その他	266	258	▲7
固定資産	4,289	4,557	268
有形固定資産	2,596	2,767	171
無形固定資産	412	345	▲66
投資その他資産	1,280	1,444	163
資産合計	6,265	6,889	623
流動負債	2,488	2,599	110
短期・1年以内返済等	1,750	1,803	52
買掛金・未払費用・未払金	534	532	▲1
その他	204	263	59
固定負債	2,085	2,509	423
社債・長期借入金	1,924	2,378	453
その他	160	131	▲29
負債合計	4,574	5,108	534
純資産	1,691	1,780	89
負債純資産合計	6,265	6,889	623

資 産

- 現預金の増加 315百万円
- 店舗設備の増加 268百万円

負 債

- 長期・短期借入金の増加 276百万円
- 社債の増加 230百万円

純 資 産

- 利益剰余金の増加 114百万円
- 自己株式の取得 ▲34百万円

キャッシュ・フロー計算書（連結）

TETSUJIN

（単位：百万円）

	21/8月期	22/8月期	増減額
1 営業キャッシュ・フロー	722	736	13
2 投資キャッシュ・フロー	▲665	▲788	▲123
フリー・キャッシュ・フロー (1+2)	57	▲52	▲109
3 財務キャッシュ・フロー	698	387	▲310
現金及び 現金同等物の期末残高	1,516	1,851	335

[営業 C F]

収入の主な内訳

- 税金等調整前当期純利益 237百万円
- 減価償却費 386百万円
- のれん償却 52百万円

支出の主な内訳

- 法人税等の支払額 148百万円

[投資 C F]

新規出店等に伴う支出

- 有形固定資産の取得 675百万円
- 店舗入居保証金 192百万円

[財務 C F]

収入の主な内訳

- 長期借入・社債発行 2,516百万円

支出の主な内訳

- 借入金返済・社債償還 2,021百万円

(単位:百万円)

	平成22年8月期							
	第1Q (9-11月)	前期比 増減率	第2Q (12-2月)	前期比 増減率	第3Q (3-5月)	前期比 増減率	第4Q (6-8月)	前期比 増減率
売上高	1,585	▲3.5%	2,005	1.7 %	1,898	6.6%	1,823	8.7%
売上原価	1,385	▲3.9 %	1,492	4.6 %	1,508	7.9%	1,472	6.5%
売上総利益	200	▲1.3 %	513	▲5.9%	390	1.8%	350	18.7%
販管費	248	▲7.2 %	249	▲2.2%	254	2.2%	255	2.3%
営業利益	▲47	—	263	▲9.3%	135	1.0%	94	109.9%
営業利益率	—	—	13.1 %	—	7.1%	—	5.2%	—
経常利益	▲49	—	248	▲9.7%	108	▲4.3%	76	73.8%
税引前純利益	▲50	—	160	▲42.3 %	85	▲14.2 %	42	768.8%
当期純利益	▲41	—	82	▲46.0 %	47	▲2.2 %	57	—

事業別売上高・営業利益

※売上高にはセグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

(単位:百万円)

		21/8月期	22/8月期	前期比 増減率
カラオケルーム運営	売上高	5,439	5,930	9.0%
	営業利益	935	1,034	10.6%
フルサービス型珈琲ショップ運営	売上高	674	664	▲1.4%
	営業利益	22	28	22.8%
その他	売上高	1,293	1,024	▲20.8%
	営業利益	66	▲29	—

H21年8月期まで区分表示していた「ビリヤード・ダーツ遊技場運営事業」「まんが喫茶(複合カフェ)運営事業」「音響設備販売事業」「音源販売事業」は、金額的重要性および事業領域の統合を考慮し、H22年8月期より『その他の事業』に含んでおります。



[2] 平成23年8月期 業績見通し

平成23年8月期の業績見通し（連結）

（単位：百万円）

	22/8月期 （実績）	23/8月期 （予想）	増減率
売上高	7,312	8,197	12.1%
営業利益	445	456	2.4%
経常利益	385	408	6.0%
当期純利益	146	128	▲12.2%

- 販管費は、営業体制の強化と接客レベル・設備品質レベルの向上のため、人員増加を見込み
- 当期純利益は、特別損失を22/8月期並みに計上（既存店一部リニューアルと、「資産除去債務」）

事業別売上高・営業利益の見通し

TETSUJIN

※売上高にはセグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

(単位:百万円)

		22/8月期 (実績)	23/8月期 (予想)	増減率
カラオケルーム運営	売上高	5,930	6,742	13.7%
	営業利益	1,034	1,094	5.8%
フルサービス型珈琲ショップ運営	売上高	664	670	0.9%
	営業利益	28	46	64.9%
その他	売上高	1,024	1,132	10.6%
	営業利益	▲29	▲69	—

配当金の推移



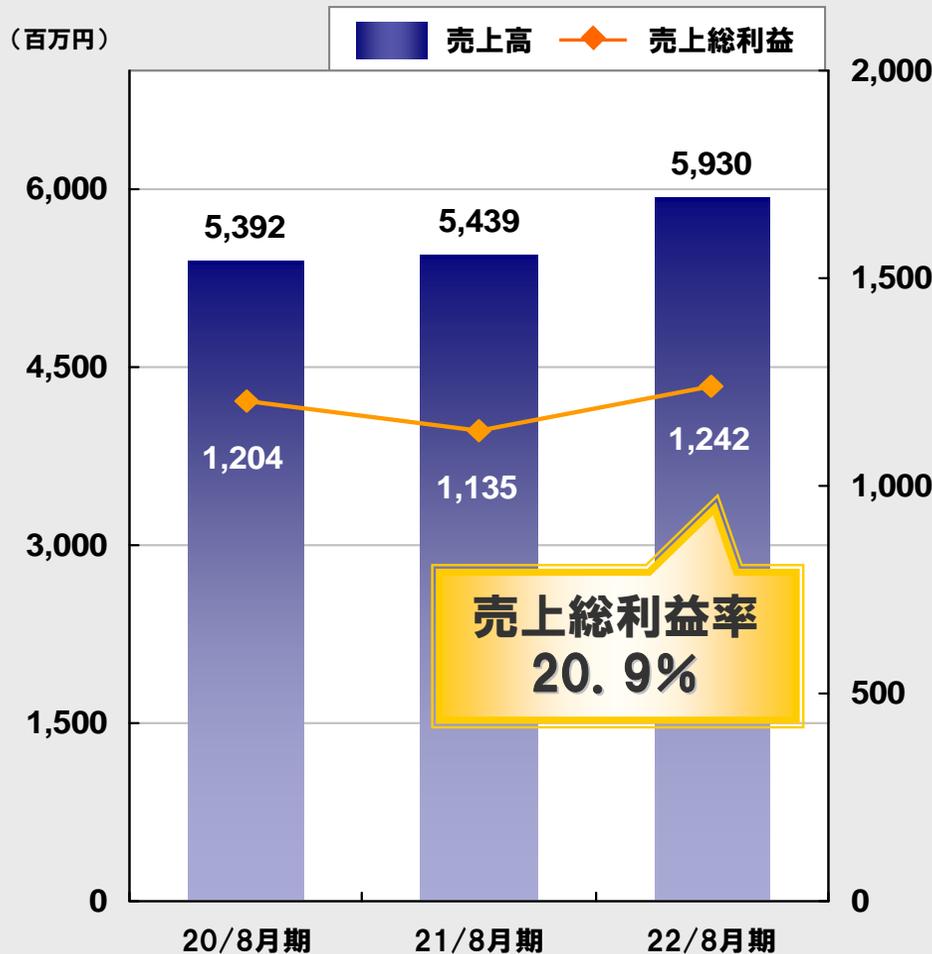
EPS（一株当たり当期純利益）の推移





[3] 平成22年8月期 取り組み

店舗売上高・売上総利益の推移

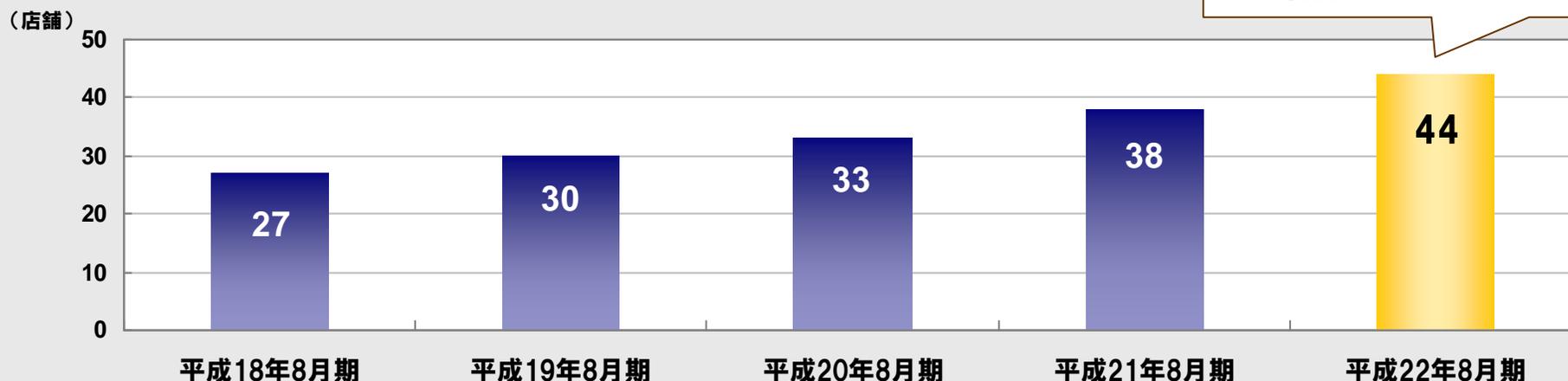


客数・客単価(全店・既存店)

		22/8月期	前期比 増減率
来店客数	全店	3,297千人	+13.8%
	既存店	2,531千人	▲0.1%
客単価	全店	1,877円	▲4.2%
	既存店	1,879円	▲4.6%

- ここ数年、売上高総利益率20%を安定的に達成できる運営体質へ
- 客数は、ほぼ横ばいで推移
夜間の利用客は減少したものの、早番帯の利用者が増加
- 客単価は各店舗料金の見直しを行い、政策的に減少

店舗数の推移

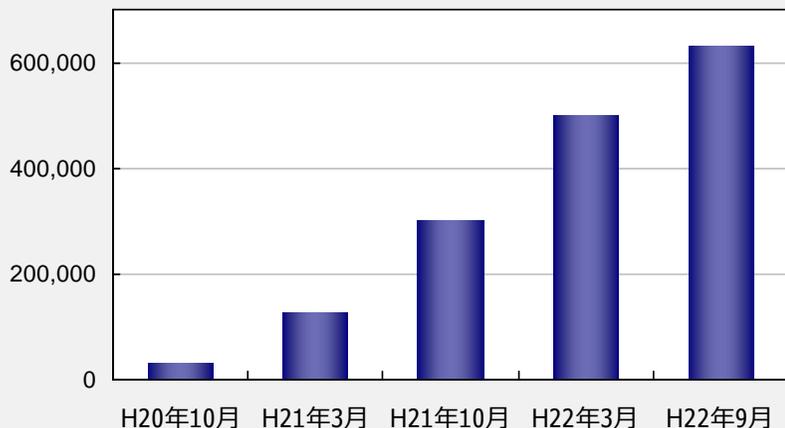


平成22年8月期の出退店

- 従来の郊外型店舗から切り替え、ターミナル(JR)駅前への出店を集中的に実施
⇒ 大きなマーケットに対して、抑えた供給(当社のターゲットである2割のお客様(コア層)に合わせた供給)を行い、安定した成績を確保
- ◆ 出店 8店舗 (上期:上野店、西新宿店、池袋西口店)
(下期:茅ヶ崎店、中野店、用賀店(移転)、大塚店、戸塚西口店)
- ◆ 閉店 1店舗 (上期:大宮2号店)

ソフトウェア開発力を活かした、顧客満足度を高めるオリジナルコンテンツ

1 会員システム



- 導入(平成20年10月)から2年で約63万人と、前年30万人に比べ、2倍以上の増加

50曲以上の課題曲の中からリクエストし、採点95点以上で賞品・賞金がもらえる!

2 電子ビンゴ



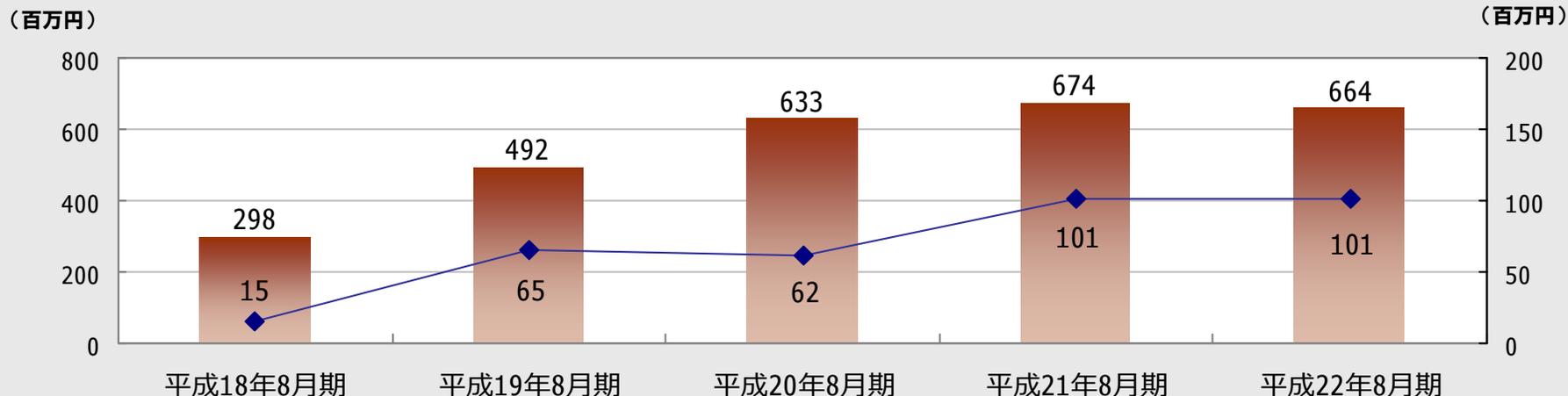
①カラ鉄ナビTOP画面の「ビンゴ」ボタンを押すと、曲が終わるごとに採点+ビンゴがはじまる。

②1列そろったら500円分割引券・・・など、景品やキャッシュバックの特典

3 チャレンジ課題曲



「からふね屋珈琲店」の売上高・売上総利益推移(全店)



売上総利益率15.3%(平成22年8月期)



KARAFUNEYA
COFFEE
A place filled with peaceful feelings and happy smiles.
Come and enjoy our special atmosphere and your happier moments.

総括

- 既存店売上高 前期比+2.4%と安定 (⇒営業モデルの確立)
- 京都市新景観条例への対応で、山科店・竹田店の設備の改善作業を実施
- 熊野店の建て替え(フルリニューアル)
- 西院店を閉店

展望

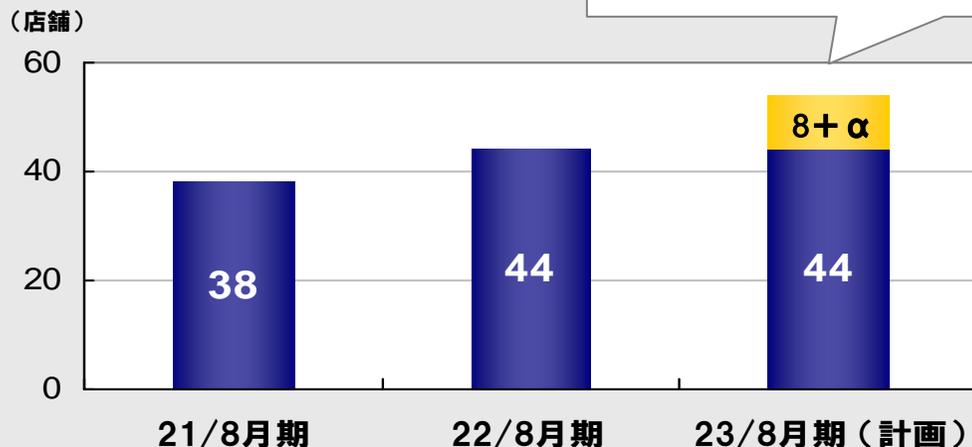
- 引き続き、「からふね屋珈琲店・本店」のブランドイメージの構築
- マーケットの拡大(海外市場への進出を検討)



[4] 平成23年8月期 経営戦略

カラオケ出店計画

平成22年8月期並みの
8店舗を計画



まんが茅ヶ崎店を出店(平成22年9月)

23/8月期の出店戦略

- 前期と同じ、中型(1店舗当たり 20ルーム前後)で8店舗 + α の2ケタ出店を目指す

⇒ 当面は首都圏を中心にターミナル(JR)駅前店舗を確保しつつ、郊外型店舗も引き続き出店

平成22年12月までに、渋谷ほか数店舗の出店を決定!

- カラオケの鉄人・茅ヶ崎店の1F部分へ、アジールエッセ(まんが)茅ヶ崎店を出店

坪数の広い物件は、他の事業の出店も検討し、敷地面積を有効活用。

◆ 平成22年10月より、「カラオケの鉄人モバイル」スタートイン

会員システムと連動したモバイル公式サイト

- 3キャリア(i-mode、au、softbank)公式サイトからモバイル会員証発行可能
- 好きな曲を200曲まで登録できる「マイ歌本」の編集
- モバイル会員証で入店すると、点数によって付与される鉄ポイント3倍
- カラオケ音源、着うた®、着信メロディ ダウンロード
- 歌詞検索(あいまい検索対応)、店舗検索など

※「着うた®」は、ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

店舗の会員システム、カラ鉄PCサイト、モバイル公式サイト
すべてに連動したシステムで、会員システムの完成！

今後は

- ◆ 既存会員約63万人の誘導・新規会員の獲得
- ◆ ブランディング



【注意事項】

本資料で用いられている業績予想、ならびに将来予測はいずれも当社の事業に関連する業界動向の見通しなど、平成22年9月時点で入手可能な情報をもとにした当社の予想を前提としています。これらは市況、競争状況、新製品や新サービスの導入、およびその成否など多くの不確実な要因の影響を受けることがあります。よって、実際の業績は本資料および決算説明で用いる予想数字とは異なる場合があることを、ご了解いただきますようお願い申し上げます。



常務取締役 管理本部長 管理本部 総務部
浦野 敏男 **長田 由伊**

TEL 03-5773-9184 FAX 03-5773-9160

E-mail web-ir@tetsujin.ne.jp



参考資料

会社概要（平成22年8月末現在）

◆ 社名	株式会社 鉄人化計画																			
◆ 設立	平成11年12月14日																			
◆ 本社所在地	東京都目黒区中目黒二丁目6番20号																			
◆ 資本金	7億32百万円（発行済株式数:33,068株）																			
◆ 事業内容	「カラオケの鉄人」を中心としたアミューズメント施設の運営																			
◆ 役員	代表取締役 日野 洋一 常務取締役 浦野 敏男 常務取締役 星川 正和 取締役 新楨 武次	常勤監査役 緑河 久彰 監査役 和田 吉弘 監査役 細野 康弘 監査役 金澤 一公																		
◆ 従業員数	連結 147名 個別 132名（※パートアルバイトは含まれておりません。）																			
◆ 株主構成	【株式等の状況】 ・発行する株式の総数・・・118,560株 ・発行済株式総数・・・33,068株	【株式の所有者分布状況】 <table border="1"> <tr> <td>自己名義株式</td> <td>1,810株</td> <td>5.47%</td> </tr> <tr> <td>外国人</td> <td>111株</td> <td>0.34%</td> </tr> <tr> <td>金融商品取引業者</td> <td>148株</td> <td>0.45%</td> </tr> <tr> <td>金融機関</td> <td>1,200株</td> <td>3.63%</td> </tr> <tr> <td>事業法人、その他法人</td> <td>2,421株</td> <td>7.32%</td> </tr> <tr> <td>個人・その他</td> <td>27,378株</td> <td>82.79%</td> </tr> </table>	自己名義株式	1,810株	5.47%	外国人	111株	0.34%	金融商品取引業者	148株	0.45%	金融機関	1,200株	3.63%	事業法人、その他法人	2,421株	7.32%	個人・その他	27,378株	82.79%
自己名義株式	1,810株	5.47%																		
外国人	111株	0.34%																		
金融商品取引業者	148株	0.45%																		
金融機関	1,200株	3.63%																		
事業法人、その他法人	2,421株	7.32%																		
個人・その他	27,378株	82.79%																		



池袋西口店



用賀駅前店



上野店



中野店



大塚店



西新宿店



茅ヶ崎店



戸塚西口店

毎年8月31日現在の株主の皆様に対して、下記のいずれか1点を贈呈

株主様ご優待カード



- ◆カラオケ: 19時以降のご入場に限り、
お一人様500円割引
- ◆喫茶店: 20%割引
- ◆ビリヤード・まんが: 30%割引
※いずれも5名様まで

特製スポーツタオル



- ◆ 当社イメージキャラクターをデザイン
した特製スポーツタオル

からふね屋珈琲ギフト



- ◆ からふね屋珈琲オリジナル焙煎の
ドリップコーヒーセット

※各デザインは変更する場合があります。ご了承ください。

カラオケルーム市場の現状と見通し

市場規模と参加人口の推移

市場規模は横ばい、今後も安定的な推移を予想

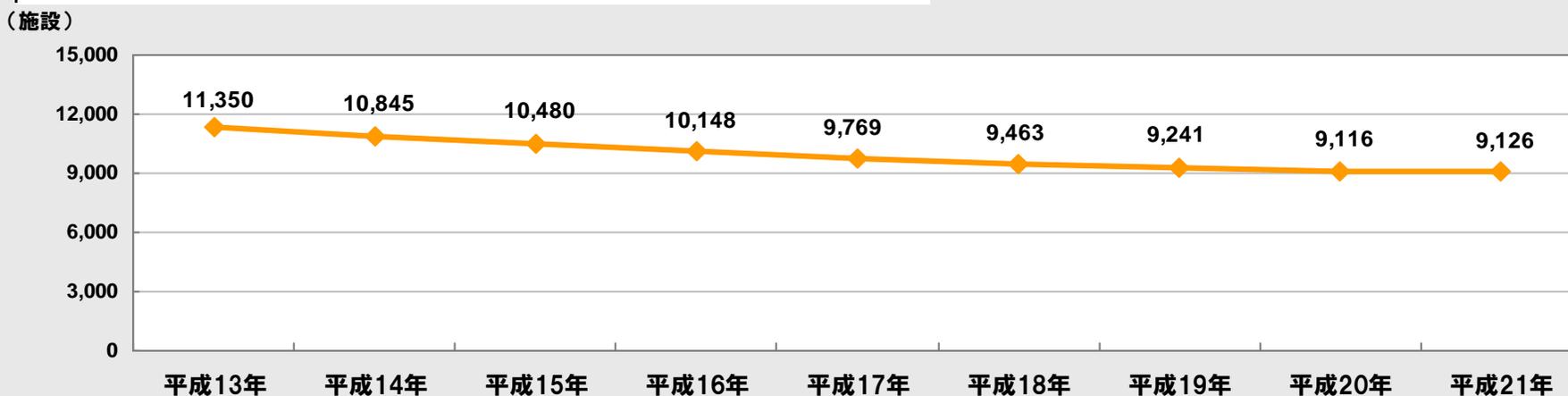
■ 市場規模 ◆ 参加人口



出所:「レジャー白書2010」

施設数の推移

カラオケ施設数は漸減傾向を予想



出所:「カラオケ白書2010」